

令和5年度

「感染がん」

全国共同研究拠点シンポジウム



日時：2023年11月10日（金）13:00-17:00

会場：北海道大学医学部フラテホール
（北海道札幌市北区北15条西7丁目）

特別講演 畠山 昌則（公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所）
「胃がん発症におけるピロリ菌CagA依存的BRCAness誘導の役割」

講演 岡本 徹（順天堂大学大学院医学研究科）
「C型肝炎ウイルスコア蛋白質の成熟化機構の解析」

松岡 雅雄（熊本大学生命科学研究部）
「種間感染によるヒトT細胞白血病ウイルス1型の病原性発現機構」

藤室 雅弘（京都薬科大学）
「ウイルス複製の分子機構：カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスのキャプシド形成」

加藤 孝宣（国立感染症研究所 ウイルス第二部）
「Large-HBs抗原を用いた新規HBワクチンの開発」

福田 真嗣（慶應義塾大学先端生命科学研究所）
「腸内環境に基づく層別化医療・ヘルスケアがもたらす未来」

主催：北海道大学遺伝子病制御研究所
「細菌やウイルスの持続感染により発生する感染癌の先端的研究拠点」

共催：IGMの北大機能強化学業
「新たな学際領域を生み出す異分野融合研究拠点をコアにした若手研究者育成」
「フォトエキサイトニクス研究拠点～光励起状態制御の予測と高度利用」

お問合せ：北海道大学遺伝子病制御研究所・山梨大学大学院総合研究部 森石 恆司 (kmoriishi@yamanashi.ac.jp)
北海道大学遺伝子病制御研究所 紙谷 尚子 (naokokam@igm.hokudai.ac.jp)